

ふるさと

の風物

(名物来民うちわ)

肥後の名物「来民うちわ」の本場、鹿本郡鹿本町来民ではいま町をあげて「うちわ作り」に大わらわ。むかし旅の僧が病いにたおれ、土地の人たちに助けられた。そのお礼に、僧が故郷の四国丸亀地方で作っている「うちわ」の作り方を教えた。その後細川侯の奨励で来民のうちわ産業はいよいよ発展したと伝えられている。ことしはすでに三百五十万本が作られ、九州各県はもとより、遠く関西、関東からも注文がきている。

シブのきいた来民独特の風趣をもつ、いわゆる来民うちわ、涼しいデザインをあしらった丸うちわ、V型のニュースタイルなど色とりどり、まさに夏を飾るさわやかな日本情緒である。(写真は夏空に花模様をつくる来民うちわ)

